

さくら第502号

令和 3年10月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬 重雄
春江町境 17-7: TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp



たみ
編みかき
時におけば
いつかかなら
むかしの
みかたには
かいたが
悪い種子には
悪い土が
こぼれたころに
ちかんと
出てる
みつと

『どの子ども かがやく』

文部科学省は2021年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を8月31日に公表しました。福井県内は公立小・中257校の12,611人が参加しましたが、1位の科目がないのは2007年度の調査開始いらい初。

小学6年			
国語		算数	
石川・秋田	71%	石川・東京	74%
福井・青森	69%	秋田	68%
東京・京都	68%	福井・東京	67%
全国平均	64.7%	全国平均	70.2%

中学3年			
国語		数学	
石川	69%	石川	63%
秋田	68%	福井	61%
福井・東京	67%	秋田・東京	60%
全国平均	64.6%	全国平均	57.2%

全国トップクラスを維持したことについて、県教育委員会は「コロナ過でも子どもたちが学校生活を充実させ、授業や家庭学習に主体的、意欲的に取り組んでいる成果」としています。文科省によると、小・中とも資料を読み解いて自分の考えを記述する力が弱かった。小6算数では、統計データの分析で正答率がふるわず、中3数学でも同じような傾向と分析。

また「全国体力テスト」においても、平成22年は小学5年生、中学2年生で男女とも1位でした。肥満度に対する調査では、「正常」とされる割合が90%あまりで小学校女子が全国1位、小・中学校男子がいずれも全国2位になるなど健康な体づくりにも秀でています。

福井では3世代同居世帯の割合が高く、共

働きの割合も58.6%と高く、全国1位です。

文科省が実施した「全国学力学習状況調査」によると「毎日朝食を食べる」「午前7時前の起床」「午後10時前の就寝」などの統計も福井の子どもたちは全国平均を大きく上回っています。3世代同居も多く、祖父母による教育・しつけ面などのサポートも大きいようです。

加えて、1世帯あたりの貯蓄残高が全国トップクラスであり、失業率は全国最低、有効求人倍数もトップクラスであり、このような環境が子どもたちの成長、進学の面でもプラスの要員になっているのでしょう。

ところで、人はそれぞれ得手不得手があり、勉強が苦手、運動がキライ、大勢のなかにいるのが苦痛など一人として同じ生活、生き方はありません。テストは点数で優劣や評価がなされますが、点数に現れない、点数では判断しにくい目に見えない事柄も多くあります。ある言葉を紹介します。

「通信簿」

わが子よ、通信簿に記載された評価が思わしくないからと、涙を流すことをやめよ。父は信じている。

お前は、これまで一円の金もごまかしたことがなかったことを。友達の約束はいつも果たしてきたことを。

そして幼いものを可愛がり、弱いものをいたわってきたことを。潔白と信義と親切とは、人間として生きていくための至上的ものだ。

それなのに、お前の通信簿のどこにそんなことが記載されているのだ。

わが子よ涙を流すことをやめよ。お前の父と母が目指している、もっと大きな通信簿に向かって歩いていこうではないか。

東井義雄（とういよしお） 兵庫県出身
1912年(明治45年)～1991年(平成3年没)

▲多様な生き方があります。どの子ども輝く何かをもっています。それを見つけ育てるのが教育です。あきらめず、根気よく前進あるのみ。